

第4章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来2014年12月末現在41ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第7図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25~4.4)	84	事前調査	炬穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162~176	1974.7.20~9.19	1,800	事前調査	住居跡11軒(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30~5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰輪陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8~29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1軒、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137~174	1975.9.4~12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9軒、古墳住居跡6軒、奈良平安住居跡10軒、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1~12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2軒(7.8)、奈良平安住居跡6軒(1.2.4~6.9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡 (第3次)・長宮 遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15~25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(I)
宅地添3次(c地区)	川崎230	1978.5.23~31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋(I)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19~5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1軒、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(II)(IV)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26~10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(II)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12~19)	260	宅地造成	溝1	埋(II)
6次	川崎102-5	1979.12.3~8	30	ﾌﾞﾛｯｸ家屋	縄文前期住居跡2軒、縄文土器片、平安住居跡2軒	埋(II)
7次	川崎124-3	1981.11.27~30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(IV)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17~26	400	住宅建設	溝1	埋(VI)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25~10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1軒、平安住居跡1軒	埋(VII)
9次	川崎字宮後1172-1、2	1986.9.11~20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋(IX)
10次	川崎224-1	1987.11.24~30	603	個人住宅	溝1	埋(X)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10~17	289	住宅建設	なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19~21)	60	下水道設置	住居跡1軒	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10~18)	1,045	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3~6)	264	住宅建設	なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4、5	1990.4.20~27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1~17	480	住宅建設	奈良住居跡1軒	埋(13)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18~23)	530	範囲確認	なし	埋(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1~31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1軒、貝塚、平安住居跡1軒	埋(13)
15次	川崎字宮後1160-1	1991.10.23~11.20	499	個人住宅	平安住居跡7軒、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18~19)	168	店舗併用住宅	なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10、11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10~13)	422	個人住宅	なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17~24)	230	機材置場敷設	なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2、3	(1995.10.13~16)	1,126	消防署	なし	埋(18)
16次	川崎字宮脇150-2、3	1995.12.11~1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4軒・掘立柱建物跡6棟、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15~23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18~25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮後1165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地添199-1、2、5	(1998.2.12~16)	780	個人住宅	なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27~11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前宮脇地内	2000.2.21~25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19~22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12~25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18~10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6.7)	257	個人住宅	なし	埋(26)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16~18	88		古墳初頭竪穴住居跡1軒【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14.15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1~4)	881	宅地造成	なし	埋(27)
20次	川崎字宮脇153-5	2005.11.28~12.2(11.22~27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14~20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16~23)	104	消防分団倉庫	炬穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、203-3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15~17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1棟、溝、近代以降の地下室1基	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21) 2008.4.22~5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15~5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4~7.9) 2008.7.10~8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、土坑、ピット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9~7.11) 2008.7.14~8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17) 2008.7.18~9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、161番地6	(2009.10.28) 2009.10.28~11.27	304	個人住宅	縄文時代中期~後期住居跡2軒、奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、ピット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24~25) 2011.3.2~25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3軒、土坑2、建物部分本調査	市内10
33	川崎字宅地添226-5	(2011.4.14~21)	438	共同住宅	なし	市内14
34	川崎2丁目5-4	(2011.7.25~26)	117.8	分譲住宅	なし	市内14
35	川崎2丁目6-4~7、9	(2011.9.27~11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1軒、奈良平安時代住居跡1軒他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15~26)2011.12.26~2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6軒他	市内14
37	川崎字宅地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	少量の須恵器片、遺構なし	未報告
38	川崎字宮後165番3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	個人住宅	地表面下50cmで、縄文跡2・中世以降ピット5確認	未報告
39	川崎字宅地添227-1	2013.3.4~5	1,121	個人住宅	旧家取り壊し時の部材を燃やし、埋めた穴や、柱穴等。近代以降。	未報告
40	川崎1丁目1番7	(2013.10.11~21)	447	共同住宅	なし	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



第8図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模	炉		設置壁	カマド		周溝	主軸方位	時期	備考	文献
						カマドK	設置壁		規模 cm	カマド					
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40		炉	地床炉	60×50		○	N-60-E	3世紀終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×		K				○	N-5-E	国分		〃
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×		K	東				N-13-W	9C 4半期		〃
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×		K	東	80×90		○	N-83-W	9C 中葉		〃
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50		K	北	120×75		○	N-5-E	10C 1半期		〃
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×		K	北	40×40			N-42-E	9C 1半期		〃
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300		K	東	50×60		○	N-69-W	9C 3半期		〃
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600										〃
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)											川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)									10C 1半期		〃
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13		K	南	50×80			N-18-E	国分		〃
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720		K	北			○	N-32-E	6C後半	ビット多数 土すい	〃
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350		K	東	60×70		○	N-64-E	6C前半	貯蔵穴有り	〃
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370		K	北	100×80		○	N-1-E	10C 2半期		〃
15	1975	第2次LN19	14住に切られる				K	東					9C 4半期	支脚がたったまま	〃
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260		K	北	90×80		○	N-4-E	9C 3半期		〃
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×								6C	紡錘車	〃
18	1975	第2次LN33	17住と大きく重複し全体不明												〃
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420		K	北東			○	N-45-E	6C後半	良好	〃
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330		K	北	120×120		○	N-29-W			〃
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280		K	東	70×60		○	N-87-E	10C 2半期	22住を切る	〃
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320		炉	地床炉					5箇		〃
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350		K	北			○	N-23-E	9C 2半期	鍛冶工房跡	〃
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580		K	北西	50×70		○	N-43-W	鬼高		〃
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)			K	東	途中で廃絶されたもの		○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330		K	北	×70		○		国分	鉄製品多い	〃
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400		K	東	170×110		○		国分		〃と埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320		K	東	120×90		○		国分		〃と埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×		K	北	155×90		○		9C 4半期	焼失家屋	〃
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×						○		国分		〃
31	1979	第6次1B住居			340×						○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査II
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×		K	北→東	140×80		○		9C 1半期	鉄製品多い	〃
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340×340		K	東	120×100		○		8C 3半期		埋蔵文化財の調査VII
34	1990	第13次1号住居	1/2~1/3		390×		K				○		7C後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×		K	東			○		9C 1半期		〃
36	1991	第15次1号住居			395×285		K	北東					9C~10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380		K	東					9C中葉		〃
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430		K	南東			○		9C初頭		〃
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×		K	東			○		8C末~9C初頭		〃
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×		K	北			○		9C前半~中		〃
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270		K	北			○		8C後半	35.36住と重複	〃
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×		K	北			○		9C前半	緑釉陶器、焼失家屋	〃
43	1994	第16次1号住居			450×						○		9C前半~後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ										9C前半~後半		〃
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×		K	東			○		9C前半~後半		〃
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ				K	東							〃
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形											〃
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形	南北2間								9C前半~後半	42住と隣接	〃
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃	〃	〃
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃	〃	〃
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間								〃	〃	〃
	1994	第16次6号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間								〃	〃	〃
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400		K	東			○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300		K	東			○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×		K						9C前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350		K	北西			○	N-45-W	7C前半~中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10		K	東	145×125		○	N-106-E	9C後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間										市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33		K	北	95×83		○	N-16-E	9C後半		〃
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24		K	北	70×		○	N-16-E	9C後半		〃
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20		K	北	98×71		○	N-4-E	8C後半		〃
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15		K	北	88×84			N-19-E	8C中~後半		〃
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2						○	N-18-E			〃
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24		K	東	108×80		○	N-105-E	8C中~後半		〃
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16		K	東	(65)×(65)		○	N-98-E	8C後半~9C初頭		〃
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12		K	北	71×90		○	N-16-E	9C後半	墨書土器	〃
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26		K	東	141×88		○	N-104-E	9C前半		〃
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21		K	北	88×140		○	N-16-E	9C後半	灰釉陶器	〃
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17						○	N-5-E	9C後半	墨書土器	〃
63	2009	第31地点		長方形	310×276×29		K		105×90		○	N-7-E	9C		市内遺跡群8
64	2009	第31地点		長方形	215×265×15		K		82×40		無	N-88-E	9C		〃
65	2011	第32地点H65号住居	完掘	長方形	355×460×35		K	北東	113×132		○	N-27-E	10C		市内遺跡群10
66	2011	第32地点H66号住居	ほぼ完掘	方形	420×365×50		K	東	49×105		○	N-99-E	8C後半~9C初頭		〃
67	2011	第32地点H67号住居	1/2	方形	(220)×330×30		未	未	未		○	N-0-E	10C		〃
72	2011	第35地点H72号住居	プランのみ	隅丸長方形	(370×470)×50		未	未	未				不明	未掘	市内遺跡群14
73	2012	第36地点H73号住居	2/3	隅丸方形	320×(177)×60		K	北	77×40		○	E-7-S	9C後半		〃
74	2012	第36地点H74号住居	プランのみ	(長方形)	(90×350)		未	未	未				不明	未掘	〃
75	2012	第36地点H75号住居	プランのみ	(長方形)	(440×450)		未	未	未				不明	未掘	〃
76	2012	第36地点H76号住居	プランのみ	(長方形)	(130×460)		未	未	未				不明	未掘	〃
77	2012	第36地点H77号住居	プランのみ	(長方形)	340×(260)		未	未	未				不明	未掘	〃
78	2012	第36地点H78号住居	プランのみ	(長方形)	(390)×420		未	未	未				不明	未掘	〃

II 川崎遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2011年3月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部東端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

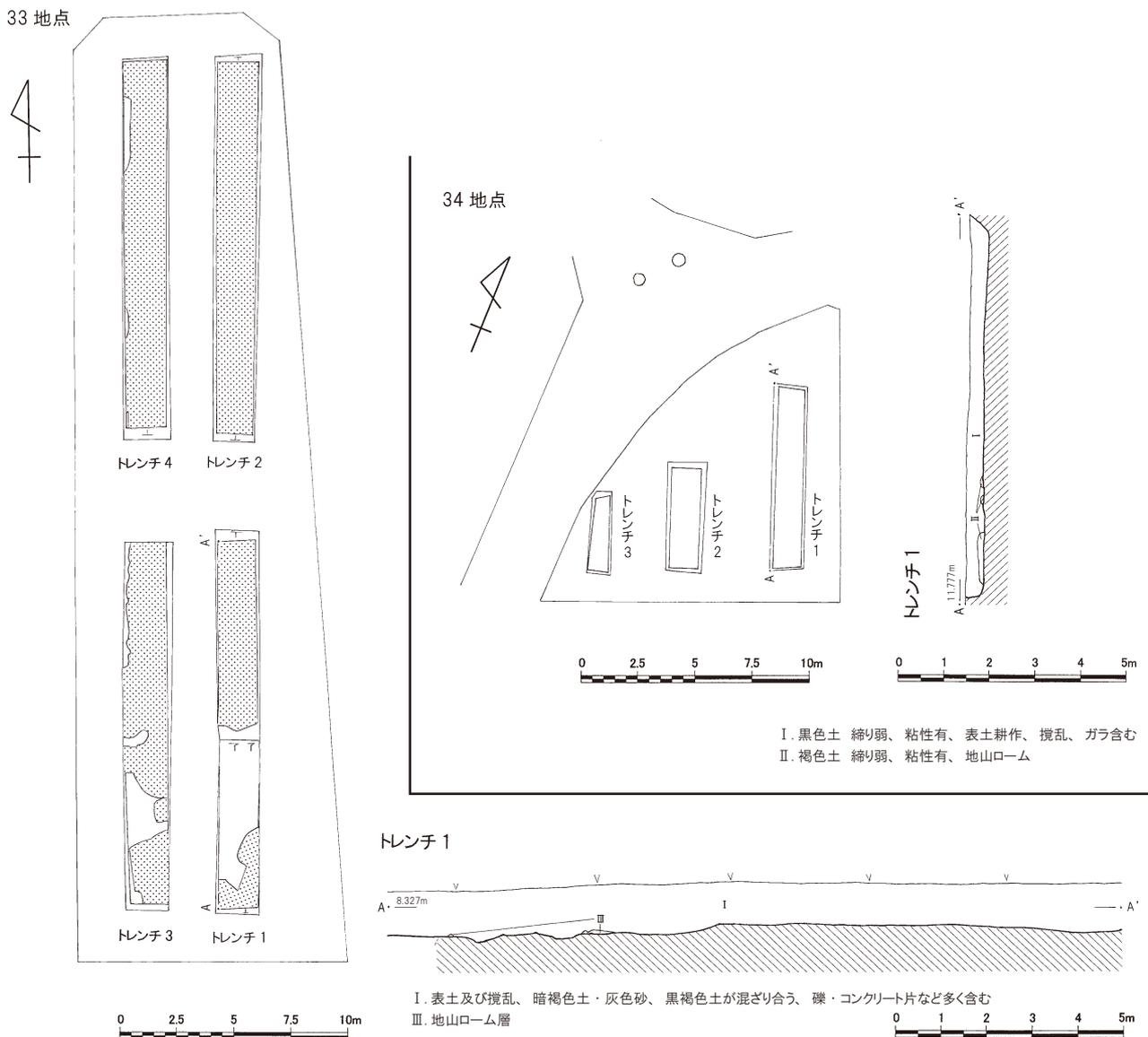
試掘調査は2011年4月14日から21日まで、幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは70～90cmであるが、既存建物がガソリンスタンドであったため、攪乱が敷地内全般に広がっていた。遺構・遺物なし。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

III 川崎遺跡第34地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2011年5月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部南端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年7月25日、26日に、幅約1mと1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは30～40cmで、遺構・遺物は確認されなかった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第9図 川崎遺跡第33・34地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)



川崎横穴墓群第 3 地点調査風景



川崎横穴墓群第 3 地点トレンチ 1



川崎遺跡第 33 地点調査風景



川崎遺跡第 33 地点トレンチ 2



川崎遺跡第 33 地点トレンチ 3



川崎遺跡第 34 地点調査風景



川崎遺跡第 34 地点調査風景



川崎遺跡第 34 地点調査風景